

平成28年度 第3回 焼津市男女共同参画プラン推進市民会議 会議録（要旨）

- ◇ 日 時 平成29年2月15日（火曜日）14時00分～15時30分
- ◇ 場 所 焼津公民館 会議室5・6
- ◇ 次 第 1. 焼津市男女共同参画プランについて（ワークショップ）
 - ① 男女共同参画に関する事業に思うこと
 - ② アンケート調査の項目について
 - ③ 男女共同参画プラン推進委員をやってみて感じたこと
 - ④ その他
 2. その他
- ◇ 出席者 【推進市民会議委員】8名
 青木 りつ子、伊久美 奈保子、大石 敏正、釜田 和子、近藤 征夫、佐野 陽子、
 杉山 令子、曾根 紀美子（50音順）
 【事務局】3名
 池ヶ谷 友彦（市民部長）
 杉本 弘行（市民協働課長）
 内田 有紀（市民協働課 市民協働担当主査）
- ◇ 会議公開 可
- ◇ 傍聴者 なし

1. 男女共同参画プランについて（ワークショップ）

【出席者が2グループに分かれワークショップを実施】

テーマ

- ① 男女共同参画に関する事業に思うこと
- ② アンケート調査の項目について
- ③ 男女共同参画プラン推進委員をやってみて感じたこと

《グループ①の発表》

- ① 男女共同参画に関する事業に思うこと
 焼津市の方向性について、女性の活躍推進か、子どもを増やして少子化を解消していきたいのか、どちらに重心を置いているのかよく分からない。
- ② アンケート調査の項目について
 前の調査は項目が膨大だったが、さまざまな意見が出ていたと思う。しかし、調査結果を将来に生かすために、焼津市にとっての重要な項目に絞り、それを中心に行政が動いていけたらよいと思う。
 アンケートの結果を中心に、毎年焼津市における男女共同参画推進のテーマを設けて民間に呼びかけていくほうが、市民に伝わりやすい。
- ③ 男女共同参画プラン推進委員をやってみて感じたこと
 事業報告を聞く機会が多かったと思う。せつかく、さまざまな立場から委員として出席しているので、もっと委員からの意見を聞き取る機会を設けたほうがよいと思う。

《グループ②の発表》

- ① 男女共同参画に関する事業に思うこと
情報紙「Aしおかぜ」での情報発信は今後も継続して続けていただきたい。
平成28年度から実施の子育てコンシェルジュ事業については、子育てで苦労している親も多く、実際効果が出ているようなので、積極的な広報を含め、さらなる推進をしていただきたい。
- ② アンケート調査の項目について
アンケートの回収率が37.3%と低いのが気になる。次回の調査を実施する際は、回収率を上げるための施策も考えてほしい。
- ③ 男女共同参画プラン推進委員をやってみて感じたこと
地域に女性の活躍の場を設ける必要性を理解することができた。
来年度以降の推進会議では、今回と同様に委員同士が話し合う機会を早期に設けてほしい。意見を出しやすい場を設けてほしい。
- ④ その他
家事や家庭、介護の分野に男性が進出し、男女の区別は少なくなった。しかし、地域の自治会などでは女性の役員が少ない。防災や交通安全の分野で女性部会が設置され、女性の町内会長が誕生するなど少しずつ進んではいるが、まだまだ道半ばなのも事実である。
地域で若い人たちの活躍できる場を設けていくのが、こうした状況を打破し、男女が格差無く活躍できる社会への第一歩ではないか。また、若い人たちの力と地域の結びつきは、まちづくりを発展させる要素になると思う。

2. その他

《杉本課長》

本日の会議の内容については、来年度の推進市民会議の参考とさせていただく。最後に、委員の皆様より一言ずつ感想をいただきたい。

《青木委員》

委員として務める中で、焼津市の施策や男女共同参画について理解することができた。

《釜田委員》

皆様の意見を伺って良い勉強となった。来年度以降も良い審議会となるようにしていただきたい。

《大石委員》

委員として務める中で、言葉では知っていたが、意識していなかった部分に気づくことができた。自治会の中に女性の役員が少ないことは、毎年指摘されている。定例会などの機会と呼びかける中で、少しずつ意識が変わってきてはいるが、一気には変わらない。もどかしく感じることもあるが、今後も自治会の中で男女共同参画が進むよう努力したい。

《伊久美委員》

2年間委員を務める中で、男女共同参画について理解できたような気がする。今後も男女共同参画について学べる機会を設けていただければありがたい。

《近藤委員》

「Aしおかぜ」について、この審議会でも何回か話題になったが、以前よりも読みやすく工夫されている。企画や執筆など大変だと思うが、これからも良いものを作っていただきたい。

《佐野委員》

前期を含め、3年間委員を務めさせていただいた。しかしながら、3年前と今で焼津市のここが変わ

った、と一言で言えないのは残念である。

委員として勉強したことで、自分自身に何ができるのか考えた。自分自身の身近な、小さなところから呼びかけていきたいと思う。

《曾根委員》

焼津市で男女共同参画を毎年少しずつでも進めていくために、どのように活動していくべきか、深く考えた。

《杉山委員》

母親の代表として参加させていただいた。他の委員に比べて男女共同参画への理解が足りない部分もあったと思うが、委員を務める中で男女共同参画について学ぶことが多くあった。

《杉本課長》

来季の推進市民会議委員については各団体からの推薦のほか、3月の広報やいづにて公募委員の募集を行う。また、来年度の推進市民会議については、6月以降の開催を予定している。